

二級河川沼田川水系河川整備計画(変更素案) 説明資料

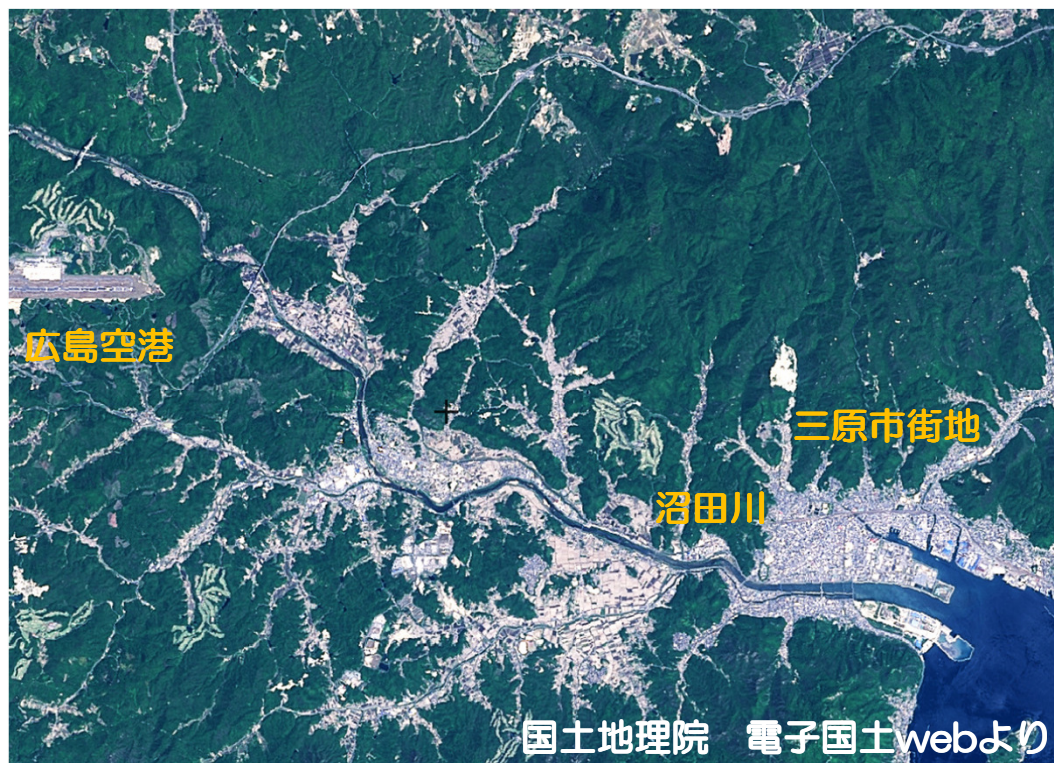


(船木大橋から下流を望む／ 2019年5月撮影)

令和元年10月

広島県

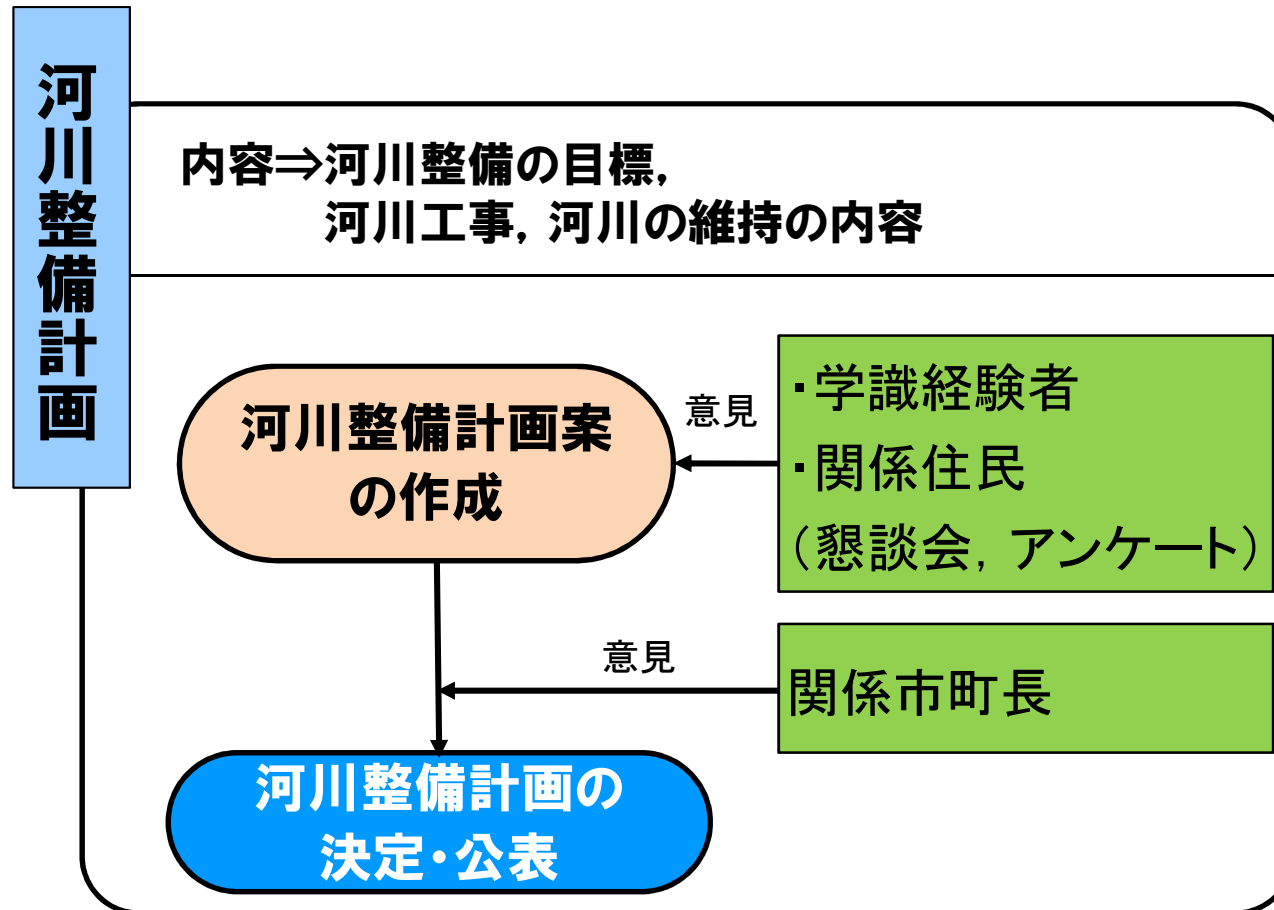
河川整備計画とは



「河川整備計画」の策定においては、
洪水防御計画に関する「治水」、
河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する「利水」、
河川環境の整備と保全に関する「環境」
の調和に配慮する必要がある。

河川整備計画で定める内容・策定の手続きについて

- 学識経験者や関係住民，地方公共団体の長の意見を聴いて策定



河川整備計画の変更について

「沼田川水系河川整備計画」（平成15年2月策定）

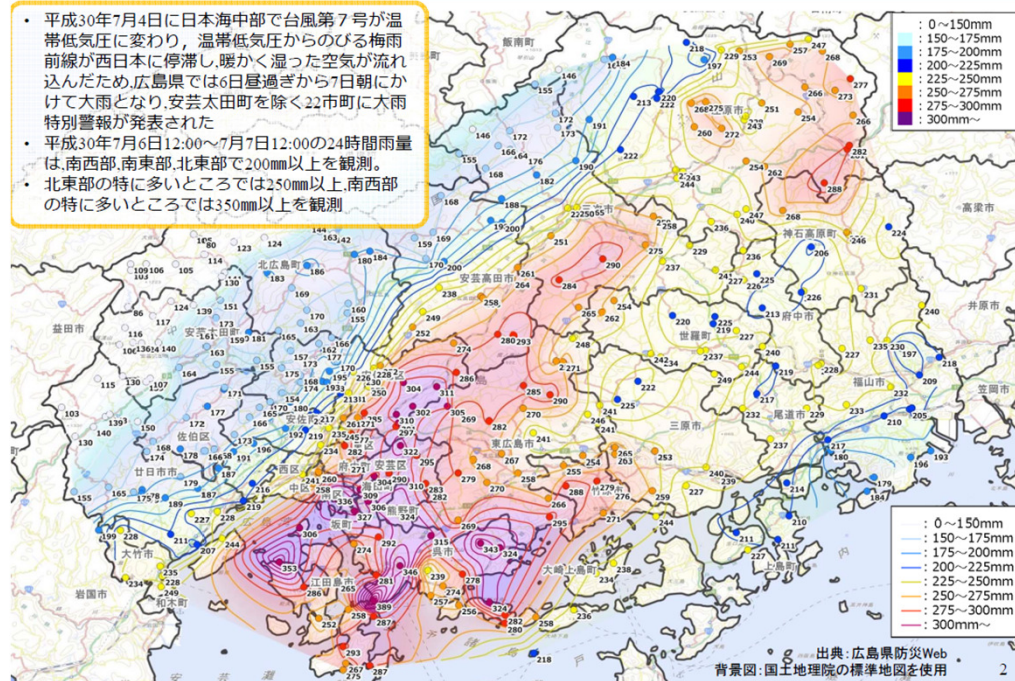
流域の治水安全度の向上のため、河川改修工事や福富ダム of 整備を実施

2. 出水時の降雨量

第1回 河川・ダム部会【沼田川流域】

雨量分布図(24時間雨量:2018/7/6 12:00 ~ 7/7 12:00)

- 平成30年7月4日に日本海中部で台風第7号が温帯低気圧に変わり、温帯低気圧からのびる梅雨前線が西日本に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込んだため、広島県では6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となり、安芸太田町を除く22市町に大雨特別警報が発表された
- 平成30年7月6日12:00~7月7日12:00の24時間雨量は、南西部・南東部・北東部で200mm以上を観測。
- 北東部の特に多いところでは250mm以上、南西部の特に多いところでは350mm以上を観測



「平成30年7月豪雨」
による被害の発生！

「平成30年7月豪雨災害を踏まえた今後の水害・土砂災害対策のあり方検討会」資料より

「沼田川水系河川整備計画（変更素案）」（今回）

被害状況を踏まえ、治水に関する整備目標、整備対象区間、整備内容を変更

1. 流域の概要
2. 河川整備計画の目標に関する事項
3. 河川整備の実施に関する事項
4. 河川情報の提供，地域や関係機関との連携等に関する事項

1. 流域の概要

1.1 流域の概要

1.2 現状と課題

1.2.1 治水に関する現状と課題

1.2.2 利水に関する現状と課題

1.2.3 河川環境に関する現状と課題

2. 河川整備計画の目標に関する事項

3. 河川整備の実施に関する事項

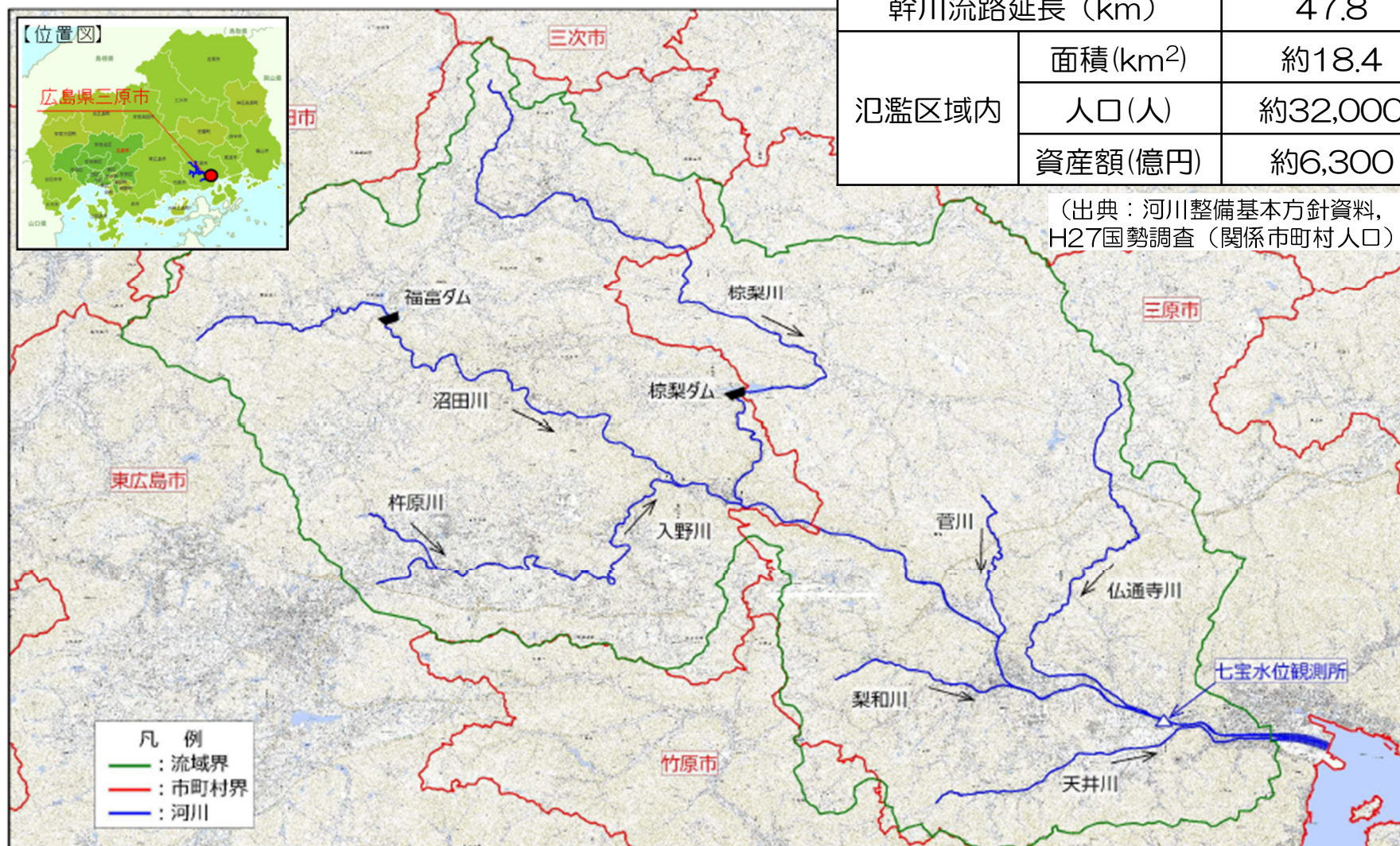
4. 河川情報の提供，地域や関係機関との連携等 に関する事項

1.1 流域の概要

《 河川の概要 》

項目		数量
流域面積 (km ²)		540.0
幹川流路延長 (km)		47.8
氾濫区域内	面積(km ²)	約18.4
	人口(人)	約32,000
	資産額(億円)	約6,300

(出典：河川整備基本方針資料，
H27国勢調査（関係市町村人口）)



沼田川水系流域概要図

1.2 現状と課題

《 治水 》

- 平成11年6月洪水では289戸、平成30年7月豪雨洪水では2,590戸の家屋浸水や農地冠水など、本・支川で広範囲に被害が生じた。
- 上・下流のバランス、本・支川の整合など水系一貫の観点に立ち、適切な安全度の治水計画に基づき、洪水防御対策を早期に実施することが課題となっている。

近年の主要な洪水

災害発生年月日	降雨の原因	日雨量(mm)	対象地区	被害状況
昭和42年10月27日	台風	92.3	旧東広島市	浸水被害あり(データが古く詳細は不明)
昭和47年7月11日	梅雨前線	107.0	旧東広島市	浸水被害あり(データが古く詳細は不明)
			旧豊栄町	床下浸水2戸
昭和60年6月28日	梅雨前線	129.4	旧河内町	床下浸水2戸
平成5年7月28日	台風	129.1	旧三原市	床上浸水5戸
			旧河内町	床下浸水3戸
平成11年6月29日	梅雨前線	113.2	旧東広島市	浸水戸数49戸(床上、床下は不明)
			旧三原市	床上浸水5戸、床下浸水8戸
			旧河内町	床上浸水18戸、床下浸水22戸
			旧大和町	床上浸水6戸、床下浸水16戸
			旧豊栄町	床下浸水22戸
			旧久井町	床下浸水1戸
			旧本郷町	浸水戸数56戸、床下浸水86戸
平成17年9月6日	台風	114	東広島市	床下浸水2戸
平成22年7月13日	梅雨前線	92	東広島市	床下浸水28戸
			三原市	床下浸水1戸
平成26年8月5日	台風	142	東広島市	床上浸水2戸、床下浸水17戸
			三原市	床上浸水2戸、床下浸水4戸
平成30年7月	梅雨前線	259	東広島市	床上浸水89戸、床下浸水18戸
			三原市	床上浸水2,137戸、床下浸水346戸

注1：日雨量は七宝地点上流域平均雨量

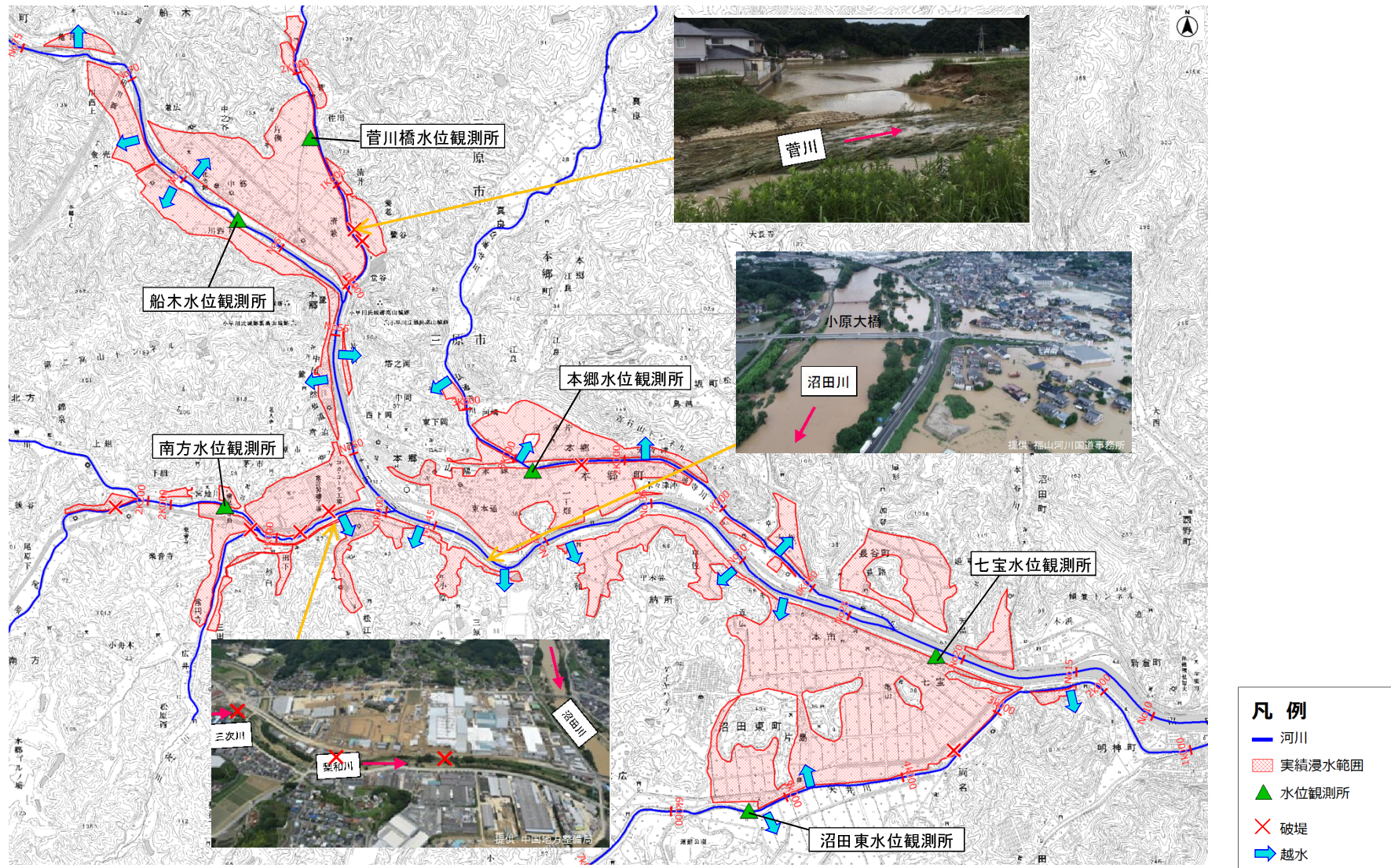
注2：昭和42年10月27日～平成11年6月29日：被害状況は河川浸水被害履歴調査(広島県)参考

注3：平成17年9月6日～平成26年8月5日：水害統計

注4：平成30年7月：東広島市は水害統計参考、三原市は統計データを用いた推定値

1.2 現状と課題

《 治水 》



平成30年7月豪雨洪水 浸水被害状況図（三原市域）

1.2 現状と課題

《 利水 》

- 沼田川水系は、沿川の農業用水として402箇所で取水され、約2,500haを灌漑しているほか、**9箇所の都市用水**に利用されている。昭和42年、53年及び平成6年等の夏期を中心に、農作物に被害が生じ、魚類等の生息環境にも影響を与えるような深刻な水不足にしばしば見舞われてきた。繰り返される渇水被害を早期に解消することが課題となっている。

地 点	流 量	豊 水 (m ³ /s)	平 水 (m ³ /s)	低 水 (m ³ /s)	渇 水 (m ³ /s)	集水面積 (km ²)	備 考
七宝	平均流量	9.82	5.62	3.89	2.00	496.0	H21～30 年
	1/10 流量	5.81	3.06	2.21	0.54		
福富ダム 放流量	平均流量	1.86	1.22	0.90	0.59	53.8	H22～30 年
	1/10 流量	1.45	0.88	0.70	0.38		

注1：豊水：1年のうち、95日これを下らない流量。

平水：1年のうち、185日これを下らない流量。

低水：1年のうち、275日これを下らない流量。

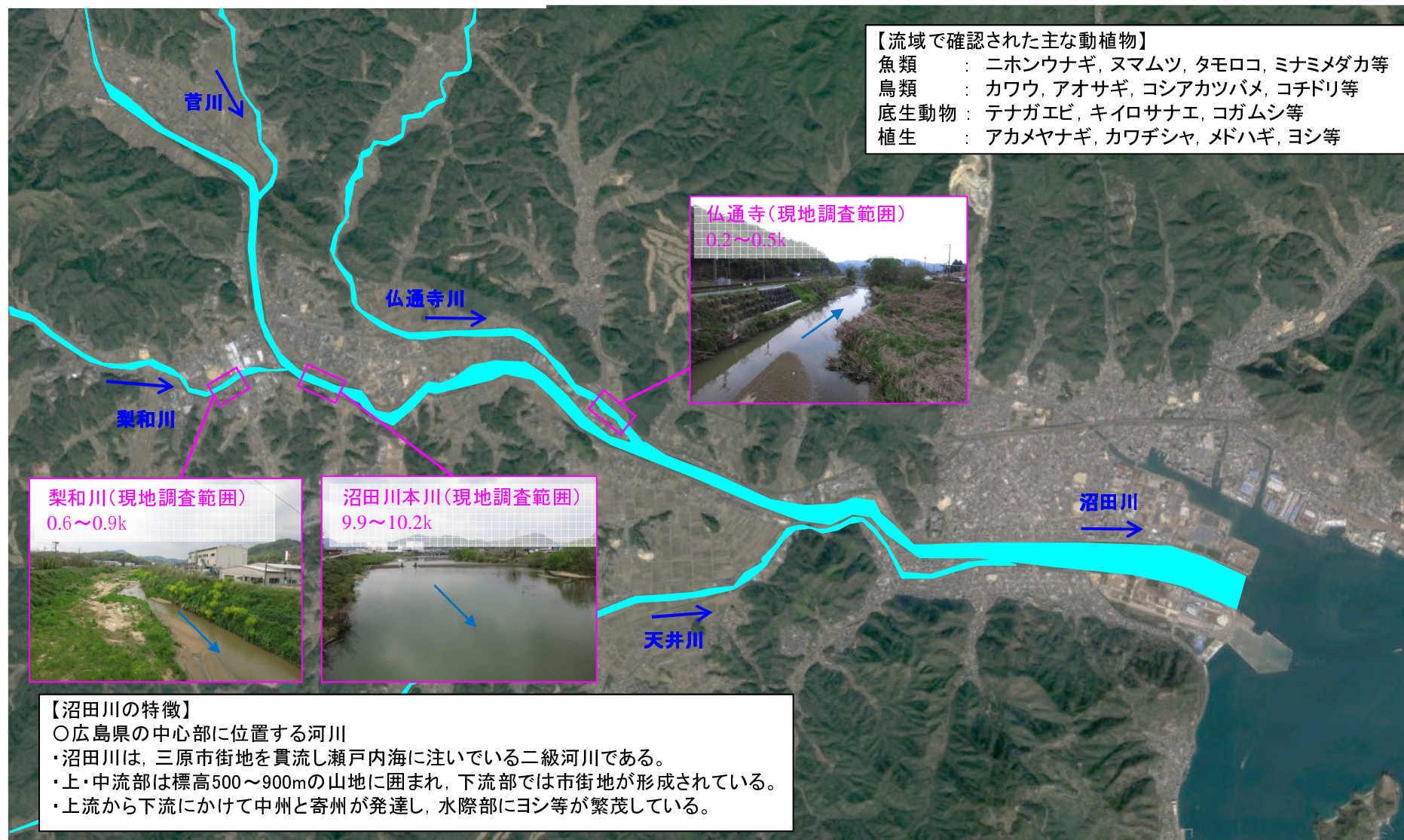
渇水：1年のうち、355日これを下らない流量。

注2：1/10 流量とは、「10年に1回程度発生する流量」を示しています。各流況（豊水～渇水）は、観測所の観測結果から、各年に1つずつ決まります。表 1.2.2 では、平成21年～平成30年の10年間の結果を用いているため、各流況の流量は10個あります。1/10 流量は、10個ある各流況の最も小さい流量になります。

流量表（日平均）

1.2 現状と課題

《 環境 》



動植物（今回の調査範囲）



1.2 現状と課題

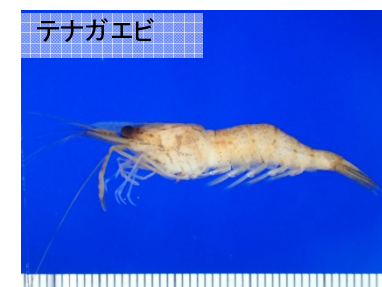
《 環境 》

- 掘削等が実施される沼田川本川（9.9～10.2k）・梨和川（0.6～0.9k）・仏通寺川（0.2～0.5k）の代表区間において、令和元年5～6月にかけて動植物調査を実施した。
- 水際に生育するカワヂシャや抽水植物をすみかとするテナガエビ、**ミナミメダカ**等の重要種が全ての代表区間で確認されているため、今後の掘削ではそれらの動植物の生育・生息環境に配慮する必要がある。

表 確認種一覧

分類群	沼田川（本川）	梨和川	仏通寺川
魚類	アユ・ ニホンウナギ ・ アブラボテ ・オイカワ・ ヌマムツ ・ タモロコ ・ ミナミメダカ ・オオヨシノボリ・ シマヒレヨシノボリ 等、計16種	オイカワ・ニシシマドジョウ・ギギ・ ミナミメダカ ・シマヒレヨシノボリ等、計9種	アブラボテ ・ タイリクバラタナゴ ・オイカワ・ ヌマムツ ・ タモロコ ・ ミナミメダカ ・ヌマチチブ・ ゴクラクハゼ 等、計17種
鳥類	カワウ・アオサギ・ゴイサギ・カワセミ・コゲラ・コシアカツバメ等、計17種	カワウ・アオサギ・ヒバリ・コシアカツバメ・イソヒヨドリ等、計14種	カワウ・アオサギ・ホトギス・コチドリ・シジュウカラ・ホオジロ等、計17種
底生動物	ハブタエモノアラガイ ・ テナガエビ ・キイロカワカゲロウ・ハグロトンボ・ キイロサナエ ・ キイロヤマトンボ 等、計61種	ハブタエモノアラガイ ・ クルマヒラマキガイ ・ テナガエビ ・キイロカワカゲロウ・ キイロサナエ ・ キイロコガシラミズムシ 等、計69種	ハブタエモノアラガイ ・ トウキョウヒラマキガイ ・ クルマヒラマキガイ ・ テナガエビ ・キイロカワカゲロウ・ キイロサナエ ・ コガムシ 等、計45種
植物	外来 アゾラ 類・アカメヤナギ・アレチウリ・ カワヂシャ ・オオキンケイギク・ヨシ等、計201種	外来 アゾラ 類・アカメヤナギ・メドハギ・オオカワヂシャ・ カワヂシャ ・ヨシ等、計162種	メドハギ・ カワヂシャ ・オオキンケイギク・ヨシ等、計170種

※赤字:重要種 青字:外来種



確認された種（一部）の写真

1. 流域の概要

2. 河川整備計画の目標に関する事項

2.1 計画対象区間及び計画対象期間

2.2 洪水，高潮による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

2.3 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

2.4 河川環境の整備と保全に関する事項

3. 河川整備の実施に関する事項

4. 河川情報の提供，地域や関係機関との連携等 に関する事項

2.1 計画対象区間及び計画対象期間

- 河川整備計画対象区間は、広島県知事管理区間とする。
- 河川整備計画対象期間は、概ね30年とする。

2.2 洪水，高潮による災害の発生防止又は軽減に関する事項

（対象とする降雨と流量）

既往最大規模の

「平成11年6月29日豪雨」，「平成30年7月豪雨」

の洪水相当の流量

（災害の発生防止又は軽減に関する措置）

- ・ 河川改修
- ・ 既設の椋梨ダムの治水機能向上策の検討
- ・ 堤防，護岸の強化対策
- ・ 水防警報など必要な対策・支援

2.3 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

- 動植物の生息・生育・繁殖環境，景観，流水の清潔の保持等の水環境を良好に維持する
- 洪水調節施設を活用し，必要な流量の確保を図る
- 河川流量等に関する情報収集提供を行うなど，関係機関との円滑な治水調整に努める。

2.4 河川環境の整備と保全に関する事項

- オヤニラミ, ミナミメダカ, ゴクラクハゼなどの貴重な魚類をはじめとする動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
- 本川中流部の船木峡, 支川仏通寺川の昇雲の滝などの良好な河川環境の保全
- 河川愛護の啓発・促進
- 河川改修を行う際には, 河道及び周辺の自然環境に配慮する

1. 流域の概要

2. 河川整備計画の目標に関する事項

3. 河川整備の実施に関する事項

3.1 河川工事の目的，種類及び施行の場所並びに

当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

3.2 河川の維持の目的，種類及び施行の場所

3.2.1 河川の維持の目的

3.2.2 河川の維持の種類及び施行の場所

4. 河川情報の提供，地域や関係機関との連携等 に関する事項

3.1 河川工事の目的, 種類及び施工の場所並びに 当該河川工事の施工により設置される河川管理施設の機能の概要

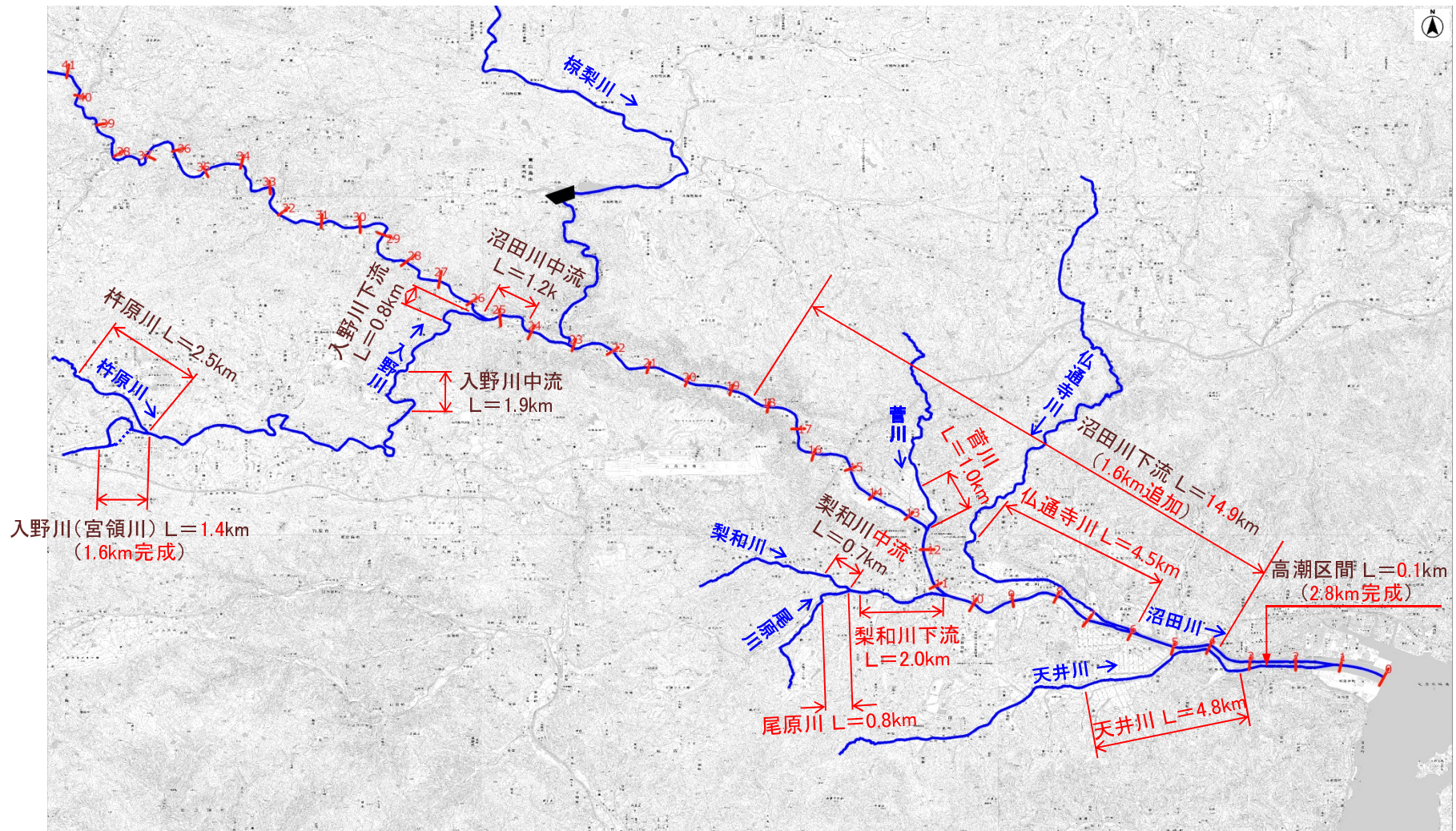
3.1.1 河川工事の施行の場所河川の維持の目的

対象河川及び施行区間

河川名	位 置	区間延長
沼田川下流	〔高潮〕: 0.1km区間	0.1 km
	〔河川〕: 定屋大橋から山陽道自動車道高架上流2.6kmまでの区間	14.9 km
沼田川中流	山陽本線橋梁から寺沖橋までの1.2km区間	1.2 km
天井川	沼田川合流点上流1.0kから上流5.8km区間	4.8 km
仏通寺川	沼田川合流点から上流4.5km区間	4.5 km
梨和川下流	沼田川合流点から上流2.0km区間	2.0 km
梨和川中流	尾原川合流点から上流0.7km区間	0.7 km
尾原川	梨和川合流点から上流0.8km区間	0.8 km
菅川	沼田川合流点から上流1.0km区間	1.0 km
入野川下流	沼田川合流点上流0.5kmから上流0.8km区間	0.8 km
入野川中流	入野大橋から大谷川合流点までの1.9km区間	1.9 km
入野川上流(宮領川)	杵原川合流点下流から宮領川分派点上流0.4kmまでの1.4km区間	1.4 km
杵原川	入野川合流点から県管理区間上流端の2.5km区間	2.5 km

赤字は、今回の見直し分

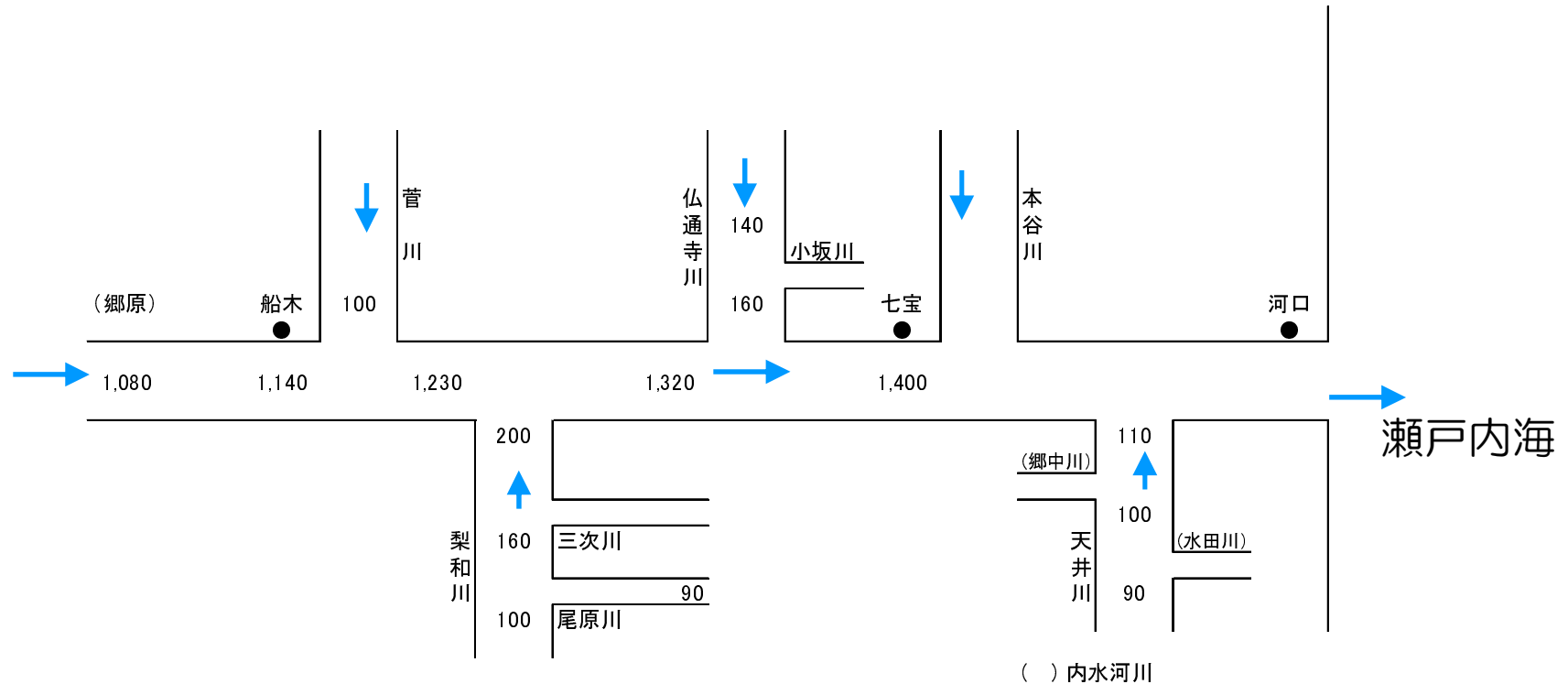
3.1 河川工事の目的，種類及び施工の場所並びに 当該河川工事の施工により設置される河川管理施設の機能の概要



対象河川及び施行区間位置図

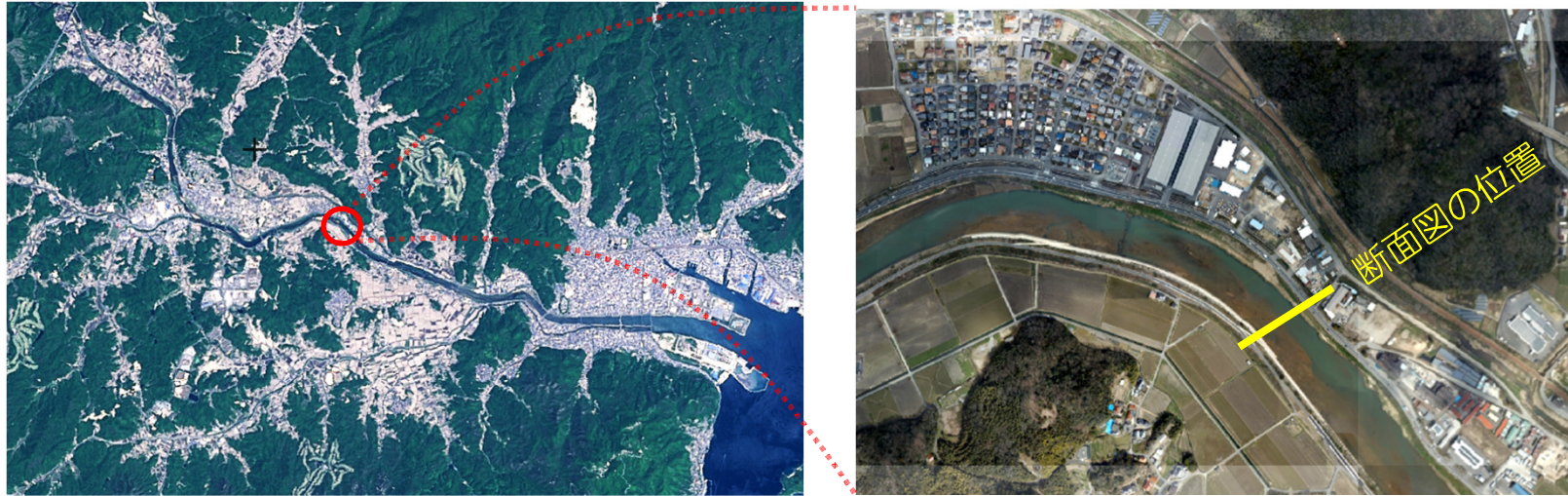
3.1 河川工事の目的, 種類及び施工の場所並びに 当該河川工事の施工により設置される河川管理施設の機能の概要

沼田川下流

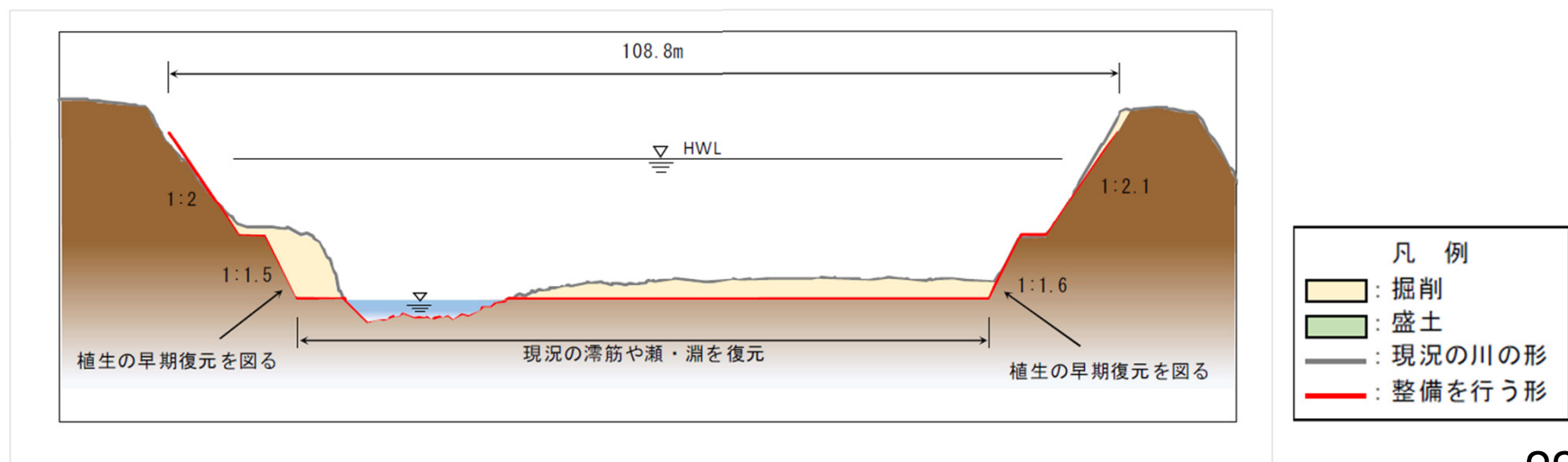


3.1 河川工事

沼田川下流

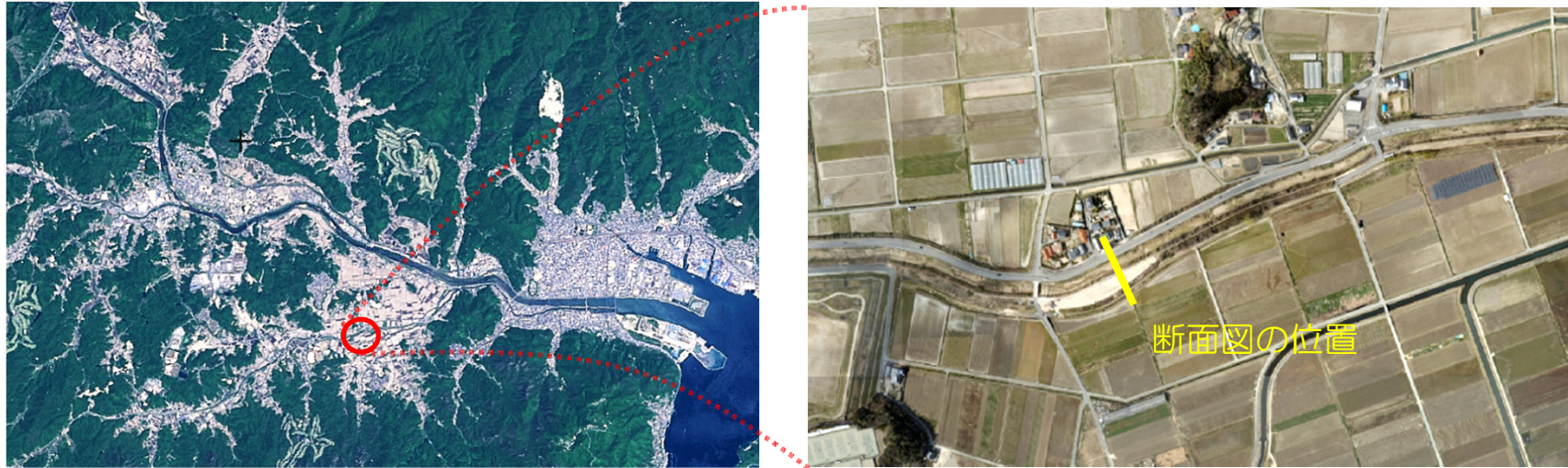


沼田川 7.65k

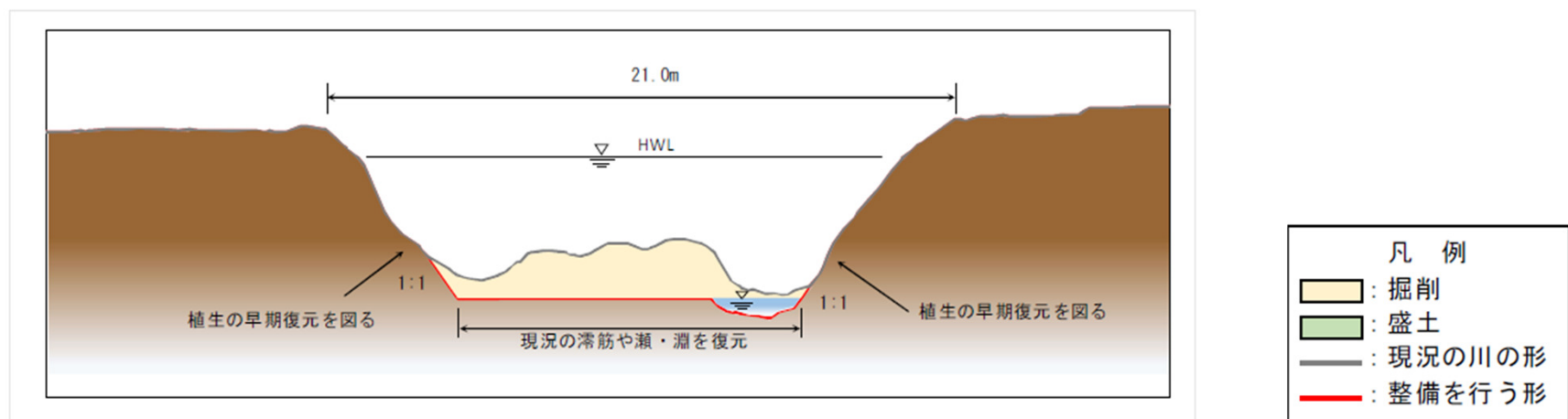


3.1 河川工事

天井川

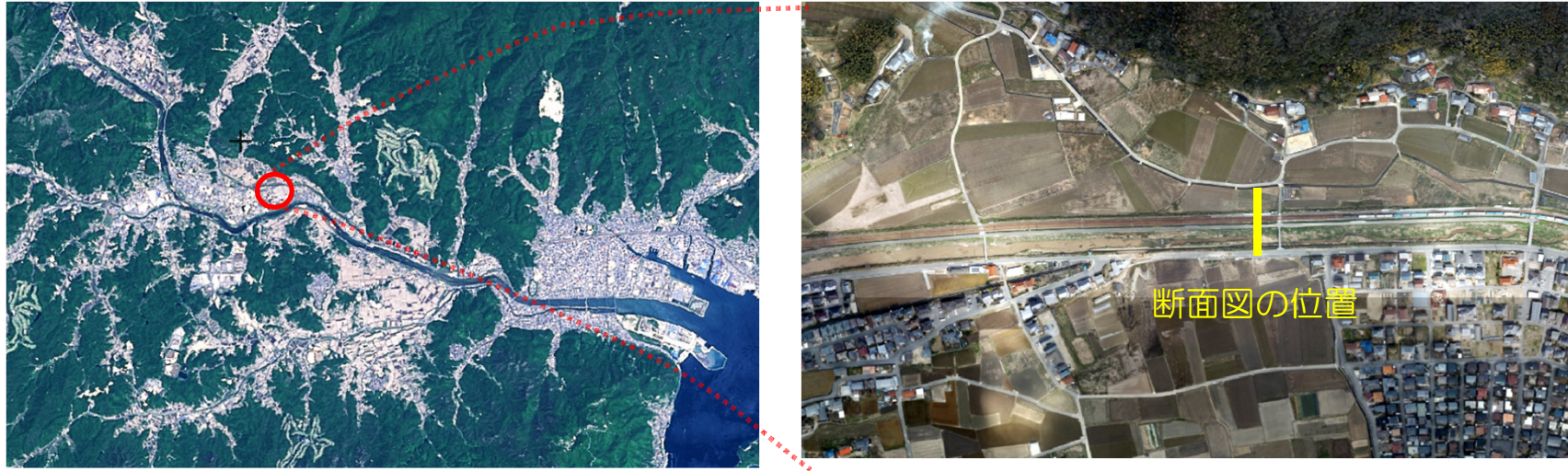


天井川 5.2k

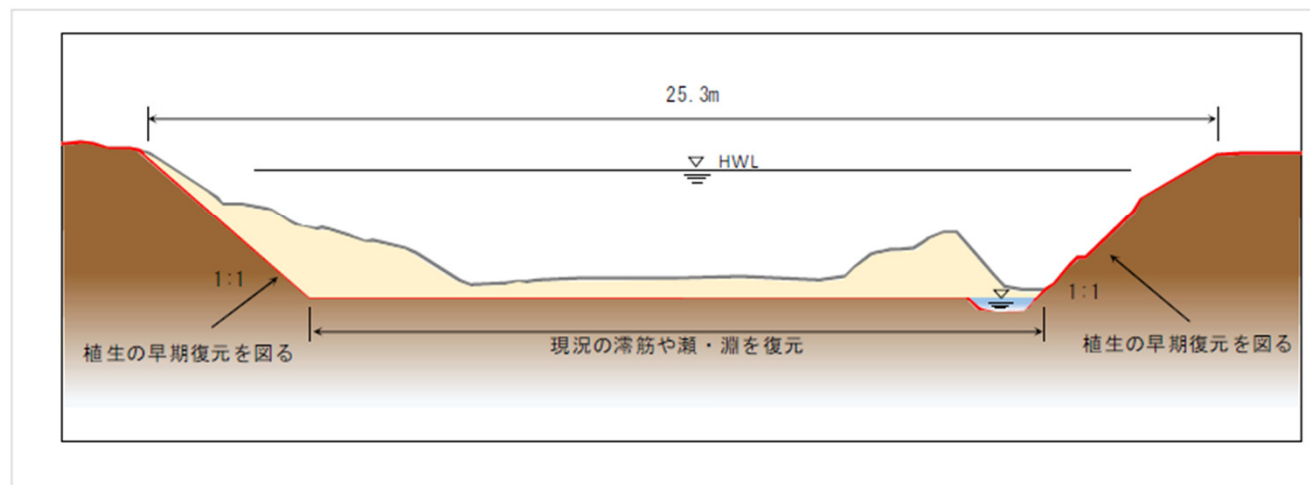


3.1 河川工事

仏通寺川



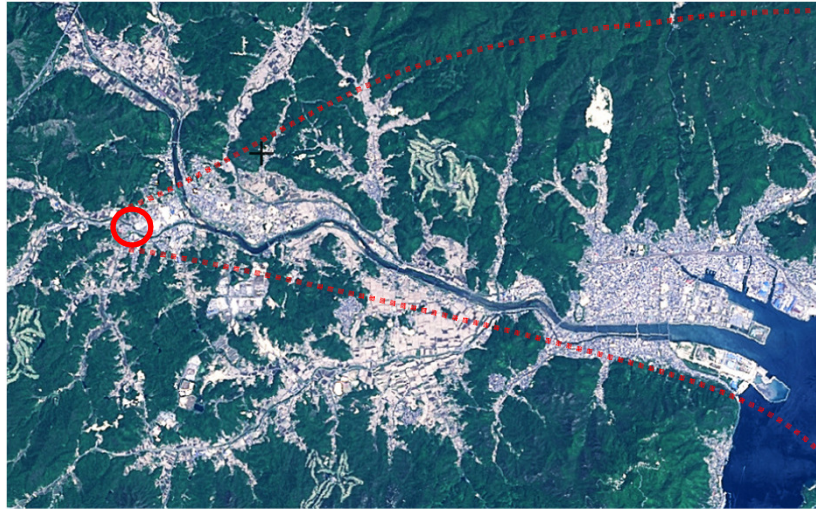
仏通寺川 2.2k



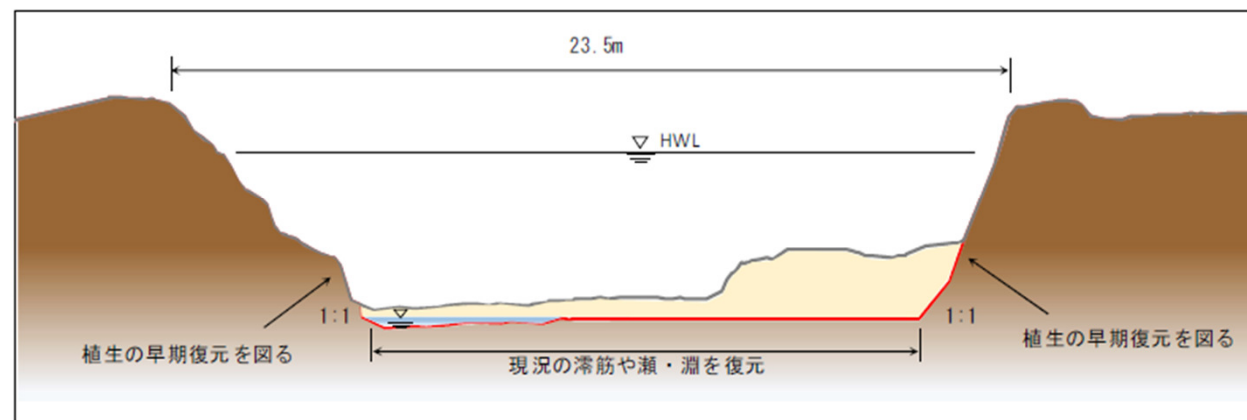
凡 例	
	: 掘削
	: 盛土
	: 現況の川の形
	: 整備を行う形

3.1 河川工事

梨和川下流



梨和川下流 1.4k



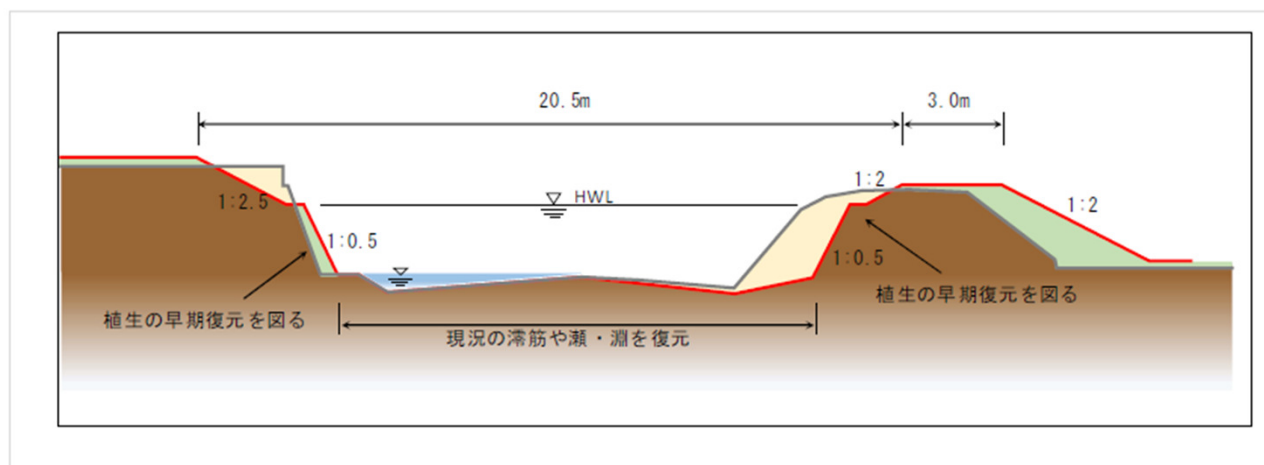
凡 例	
	: 掘削
	: 盛土
	: 現況の川の形
	: 整備を行う形

3.1 河川工事

梨和川中流



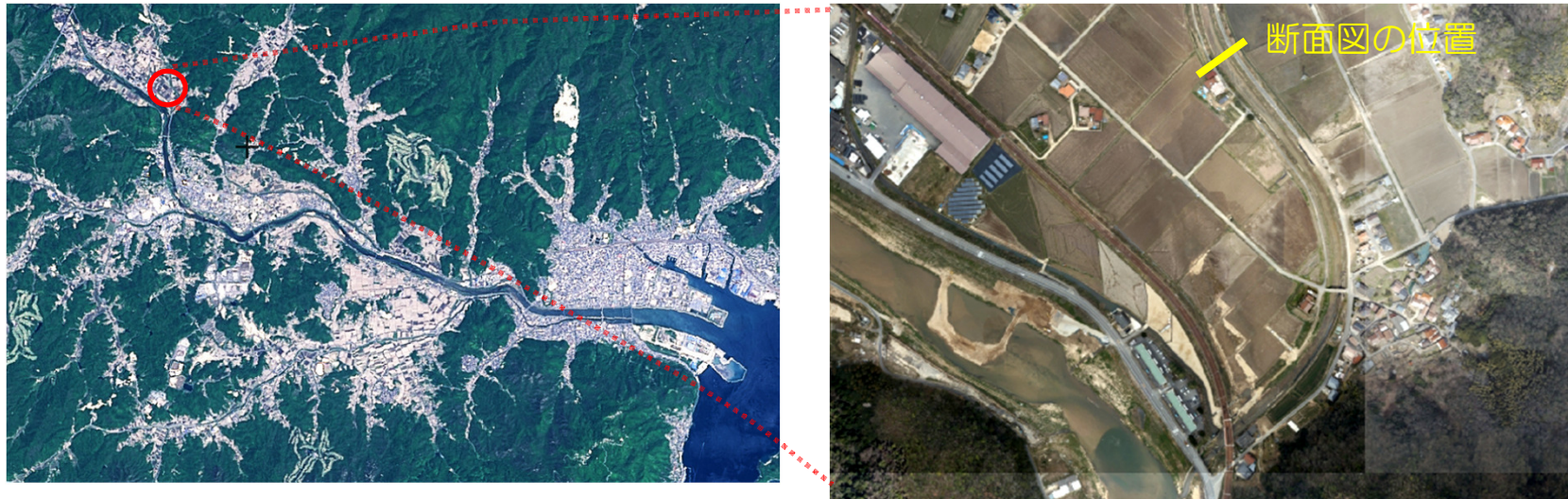
梨和川中流



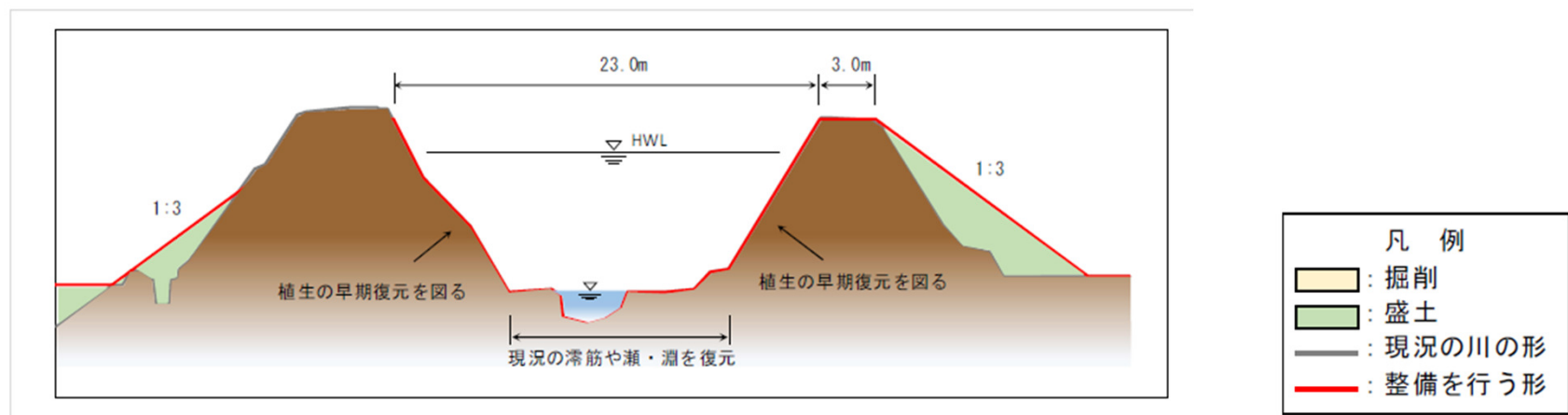
凡 例	
	: 掘削
	: 盛土
	: 現況の川の形
	: 整備を行う形

3.1 河川工事

菅川

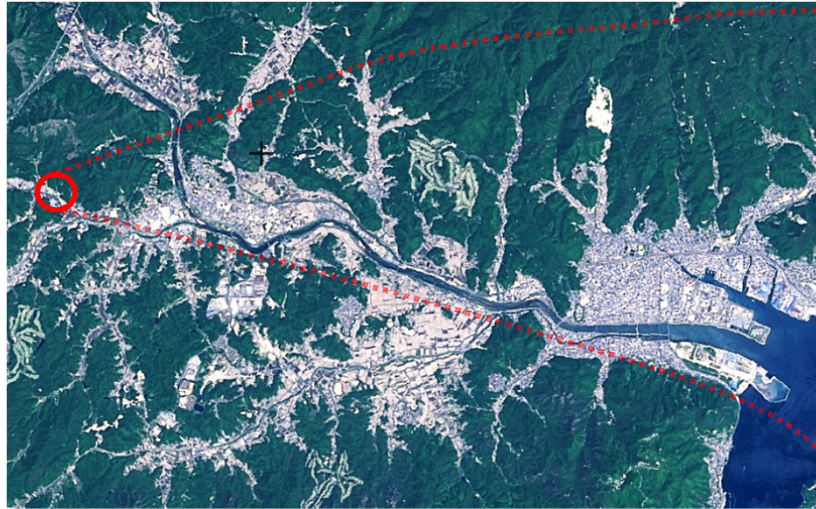


菅川 0.4k

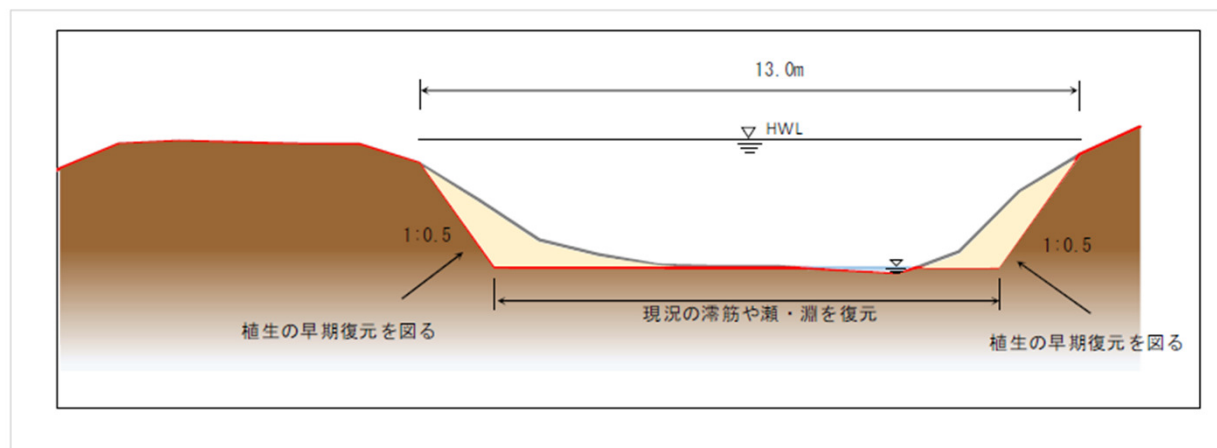


3.1 河川工事

尾原川



尾原川 0.4k



凡 例	
	: 掘削
	: 盛土
	: 現況の川の形
	: 整備を行う形

3.2 河川の維持の目的、種類及び施工の場所

3.2.1 河川の維持の目的

- (1) 洪水による被害の防止
- (2) 河川の適正な利用
- (3) 流水の正常な機能の維持
- (4) 河川環境の整備と保全

3.2.2 河川の維持の種類及び施工の場所

- (1) 流下能力の維持
- (2) 河道の維持
- (3) 植生の維持
- (4) 護岸，堤防の維持
- (5) ダムの維持

河川整備計画

1. 流域の概要

2. 河川整備計画の目標に関する事項

3. 河川整備の実施に関する事項

4. 河川情報の提供，地域や関係機関との連携等
に関する事項

4. 河川情報の提供，地域や関係機関との連携等に関する事項

- (1) 河川にかかる調査・研究等の促進
- (2) 河川情報の提供
- (3) 地域や関係機関との連携

終わり